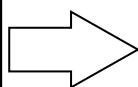


家庭学習の手引き 中学生用


ステップ1
宿題に取り組もう！



ステップ2
自分で課題をもって自主学習に取り組もう！

【 家庭学習の目標時間 分 】

【基礎力アップメニュー】

共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の授業内容について教科書を読んだり、問題を解いたりしてみる。 ・ 1日の授業を振り返り、問題を解き直したり、学習した内容をノートに整理したりする。 ・ 教科書に太字で紹介されている「重要語句」の意味や内容についてノートにまとめる。 ・ 教科書やテストなどで間違えた問題は、ノートに書き写し、解き直して、同じ間違いをしないようにする。
<p style="text-align: center;">復習・予習の習慣を身に付けましょう！</p> <p>復習することで、より確実に知識が身に付きます。 予習をして見通しを持つことで、次の日の授業がよりわかりやすくなります。</p> 	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字練習を繰り返し行う。 ・ 新出漢字の意味を理解し、正しく用いた短文を考えて書く。 ・ 教科書の音読をする。古典は独特のリズムを意識して読む。 ・ 主語、述語の関係や品詞の分類など文法についてまとめる。 ・ 読めない字や意味の分からない言葉があれば辞書を使って調べる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算練習を繰り返し行う。 ・ 授業で扱った例題を解き直す。解き終わったら、類題（同じ種類の問題）に取り組む。 ・ 間違えた問題は、どこで間違えたかを確認し解き直してみる。その際、誤答は消さずにチェックを入れながら解き方を考える。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史上の人物や関連する出来事についてまとめる。 ・ 政治の仕組みや文化など、各時代の特徴についてまとめる。 ・ 教科書や地図帳を使って地名や位置、気候の特徴などを覚える。 ・ インターネットを活用して、さまざまな土地の実際の様子（写真や映像）を調べる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察や実験の方法について、ねらいと関連付けてまとめる。 ・ 観察や実験の結果と考察についてまとめる。 ・ 授業で使用した実験器具や薬品の名称や使い方、注意事項などについてまとめる。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書本文を音読し、暗唱できたら、その英文を書き出してみる。 ・ 新出単語は声に出し、書いて覚え、文章にして活用できるようにする。 ・ 英語の語順を意識して、基本文を声に出し、書き出してみる。

eライブラリを活用して、基礎力を高めよう！

パソコンやタブレット、スマートフォンから「ラインズeライブラリ」の家庭学習サービスが利用できます。学校からもらった「eライブラリ家庭学習の使い方」を参考に活用してみましょう。



【チャレンジメニュー】

<課題をもって自ら学ぶ力がアップ！>

- ・学習した内容を振り返り、自分の言葉（文章）でまとめる。
- ・学習した内容から自分で問題を作って解いてみる。
- ・新聞を読んで世の中の動きに目を向ける。新聞や雑誌などの短い文章の記事を読んで要旨とそれに対する自分の考えを書く。
- ・いろいろなジャンルの本を読む。友達や家族とおすすめの本を紹介し合うことで読書の幅を広げる。（物語、古典作品、伝記、科学読み物、詩集、図鑑 など）
- ・読んだ本について内容や感想を書く。

<思考力・記述力・がアップ！>

- ・「〇〇字くらいでまとめてみよう」など字数を制限し要約する問題に取り組む。（国語）
- ・数学の問題を解く際に、解決のための方法や手順の説明を自分の言葉で書いてみる。必要に応じて図や表、グラフを活用してより分かりやすく書く。（数学）
- ・表やグラフなどの資料から情報を読み取って分かったことを書く。（社会・理科）
- ・1日の出来事を3文（①どこに行き②何をして③どうだったか）英語日記でまとめる。（英語）
- ・教科書の基本文や教科書本文にプラス1文を加え、オリジナル英文を作る。（英語）

目的に応じて教科書を活用しましょう！

教科書にはさまざまな問題があります。「苦手な教科なので基礎をしっかり身に付けたい」「活用問題が苦手なので、より発展的な問題に取り組みたい」など、その日の学習の目標に応じて、教科書の問題を活用し、学力を高めましょう。



【教科書にある発展的な問題の例】

- （国語）巻末にある「学びのチャレンジ」に取り組む。
- （数学）各章のまとめの問題にある「応用」「活用」問題に取り組む。
- （社会）各章の終わりにある「学習のまとめと表現」に取り組む。
- （理科）単元末問題の中の「読解力問題」に取り組む。
- （英語）巻末にある「Review Reading」「Extensive Reading」を読む。